

科目区分	専門分野	授業科目	老年看護援助論Ⅰ(健康生活と予防)
講師名	岸本 由香(3) 前田 葵(6) 今若 育穂(6)	実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(15時間)	開講年次	2年次 第1学期
授業概要 *講師からのメッセージ	<p>目的:高齢者の生活維持・健康生活のための看護実践が出来るための知識・技術を修得する。</p> <p>目標:1. 高齢者のヘルスアセスメントについて理解できる。</p> <p>2. 高齢者に起こりやすい症状が理解できる。</p> <p>3. 高齢者の自立を支える看護方法が実践できる。</p> <p>4. 高齢者の日常生活に潜む事故について理解できる。</p> <p>5. 高齢者の終末期症状と看護の実際が理解できる。</p>		
回	授 業 内 容	授業方法	
1	1. 高齢者の生活機能を整える看護 1)日常生活を支える基本的活動 ①転倒のアセスメントと看護 ②廃用症候群のアセスメントと看護	講義	
2	2)食事・食生活 ①高齢者における食生活の意義 ②高齢者に特徴的な変調(摂食嚥下障害・低栄養) ③食生活のアセスメント ④食生活の支援 ⑤嚥下訓練(演習)	講義 演習	
3	3)排泄 ①高齢者の排泄ケアの基本 ②排尿障害のアセスメントとケア ③排便障害のアセスメントとケア	講義	
4	4)清潔 ①高齢者に生じやすい清潔に関する健康課題(皮膚の変化(褥瘡予防)・ドライスキン) ②清潔のアセスメント ③清潔の援助(入浴・フットケア)④入浴行動に伴う危険性 ⑤嚥下障害のある高齢者の口腔ケア(義歯洗浄を含む)	講義	
5	5)生活リズム ①高齢者と生活リズム ②高齢者に特徴的な変調 ③生活リズムのアセスメント ④生活リズムを整える看護 6)コミュニケーション ①高齢者とのコミュニケーションとかわり方の原則 ②コミュニケーション能力のアセスメント ③高齢者の状態・状況に応じたコミュニケーションの方法	講義	
6	2. 高齢者のリスクマネジメント 1)高齢者と医療安全 ①高齢者と医療事故 ②高齢者特有のリスク要因 ③高齢者がみまわれやすい医療事故と対応の実際(熱傷・誤嚥・チューブ類の自己除去) 2)高齢者と災害	講義	
7	3. 高齢者のエンドオブライフケア 1)エンドオブライフケアの概念 2)意思決定への支援 3)末期段階に求められる援助	講義	
8(45分)	終了試験		
評価方法	筆記試験 100点満点 評価基準参照		
テキスト	医学書院:系統看護学講座 専門分野 老年看護学 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論		
備考			